

平成 27 年度第 2 回 ISO/TC46/SC4 国内委員会議事録

1. 日時：2016 年 1 月 13 日(水)14 時～16 時

2. 場所：情報科学技術協会会議室
(文京区小石川 2-5-7 佐々木 4 階)

3. 出席者：

委員	宮澤彰	国立情報学研究所 (SC4 リーダ)
	五十嵐健一	慶應義塾大学
	大向一輝	国立情報学研究所
	大場高志	日本図書館協会
	長田孝治	株式会社ロゴヴィスタ
	小島裕一	株式会社リコー
	中野茂	大日本印刷株式会社
	橋詰秋子	国立国会図書館
	村田良二	東京国立博物館
	安形輝	亜細亜大学
事務局	光富健一	情報科学技術協会

4. 配布資料：

資料 1：平成 27 年度社会ニーズ (安全・安心)・国際幹事等輩出に係る国際標準化活動実施計画書

資料 2：平成 27 年度戦略的国際標準化事業・・・」における調査活動報告

資料 3：Description of copyright specification in digital archives for libraries and related organization (菅野先生によるスライド)

資料 4：Rights metadata in MARC21(JuhaHakala 氏によるスライド)

資料 5：国際図書館資料識別子(ISO 20247)開発活動報告

資料 6：WG1 の設置について

資料 7：前回委員会 (2015/7/16) 以降の投票済案件

5. 議題：

5-1) 前回議事録の確認と今回の議事録の作成者
前回の議事録を確認した。

5-2) 平成 27 年度計画の進捗状況について

ISO/TC46/SC4 の国内委員会の活動は「デジタルアーカイブ国際標準化活動のための

環境整備」が対象。経産省からは「デジタルアーカイブの利活用に関する国際標準化」、「デジタルアーカイブにおいて原資料を管理するための識別子」に関して予算がついている

5-2-1) デジタルアーカイブの利活用に関する国際標準化

デジタルアーカイブの利活用のための国際標準化のための準備作業をまとめた資料2に基づいて報告された。関連して資料3、4が紹介された。

5-2-2) デジタルアーカイブにおいて原資料を管理するための識別子

資料5に基づいて国際図書館資料識別子(ILII)に関する標準化について SC9 から NWIP を提案し、9月に ISO/TC46/WG13 から WD を提出している。いまだに CD 投票にはかかっていない。

5-3) デジタルアーカイブ利活用のための記述に関する標準化委員会(WG1)の発足について

資料6に基づき宮沢リーダが報告した。宮沢リーダを中心に2016年1月20日に国内WGが発足する。SC4からは宮沢リーダと安形委員が参加する。他に適当なメンバーがいなかたか諮られ、若干名の推薦があり検討することとなった。

5-4) 前回委員会以降の ISO/TC46/SC4 投票報告

事務局より資料7に基づいて前回会合以降行った3件の投票について報告があった。

5-5) 投票審議案件

担当の委員より資料7に基づいて2016/3/15締め切りの ISO17933:2000GEDI – Generic Electronic Document Interchange (電子的な Inter Library Loan についての標準) について報告があった。関連ソフトウェアの国内代理店であった丸善に問い合わせたところ、過去に一部で使われた標準であるが、すでに国内の利用実績がないとのことである。そのため、Withdraw で投票する予定である。

5-6) 2016年 ISO/TC46 ニュージーランド総会(2016/5/9-13)について

次年度ニュージーランドの Wellington で開かれる ISO/TC46/SC4 総会には宮沢リーダが国内委員の代表として参加することについて審議され、承認された。

5-7) その他

委員から廃止された JIS 規格について公にすることは可能か、という確認があった。同様の標準を作るとき、あるいは、標準の歴史研究などを考慮した時に、過去の標準の有用性は認められるが、公開できるかは不明。紙媒体になっているものは少なくとも国

会図書館が所蔵している。

(以上)